

Group Exhibition

“循環の合図”

西久松友花/生駒敦/藤田クレア

2023/4/7 -4/23

Marco Gallery 1F



この度 Marco Gallery では西久松友花/生駒敦/藤田クレアによるグループ展“循環の合図”を Marco Gallery 1F にて開催いたします。本展では、文化的宗教的記号への関心からそれらを陶芸というメディアを通じて再構築する西久松友花、建築という文脈を持ちながら現代における華道のあり方を模索する生駒敦、無機物と有機物を共存させたまるで生命体のような装置を通じて現代に潜む現象を表象させる藤田クレアら3人による、‘循環’を切り口とした展覧会を開催致します。



〈循環の合図〉ステートメント

我々は、地球にある資源を利用することを通じて、物質的發展を図り精神的充足を獲得するべく、文明化を推し進めてきました。ここでいう文明化というのは、技術的發展と制度的な發展を含んでいます。そして、現代に至ってようやくある種の發展の限界点のようなものを感じ取った社会の動きとして、自然との向き合い方や経済活動や制度のあり方などへの関心の高まりが見て取れるようになりました。そこでは、例えば、'循環型社会'など、循環をめぐる言説も多くみられるのではないのでしょうか。

本展では、そんな現代において、循環という概念を異なる角度から示してくれる作家たちによる本展覧会が循環のメタファーとして機能することをもって、現代を生きる我々に流れる循環的感觉を呼び起こしてくれることを企図としています。具体的にいえば、生態系における循環、時間の流れとしての循環、身体的な循環、さまざまな文脈に見え隠れするこの概念について考えを馳せるきっかけとなることを期待しています。

西久松友花は、土と火による現象を通じて人類のルーツともいべき宗教的文化的記号を現代を生きる彼女の感覚に基づいて再構築することで過去と現在をつなぎ、藤田クレアは、人類の文明の發展ゆえに生み出された産物ともいえる無機物を石などの有機物とともに再構築し、無機物でさえも有機体に変えるかのような作品を生み出すことで現在を未来へつなぎ、そして、生駒敦と故中川幸夫氏は、生命として絶対的な終わりをもつ花を通じて生と死という普遍的な時間軸をもって、循環概念を感覚的に提示してくれます。

西久松友花/Yuka Nishihisamatsu

京都府生まれ

京都市立銅駝美術工芸高等学校 日本画専攻 卒業

京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻 卒業

京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器 修了

「無相」は姿、形といった実態がないという意味の仏教用語であり、人間を含めあらゆる物事は固定的な形を持たないとされている。長引くコロナ渦で、救いや拠り所を求めて「見えない」或いは「見えにくい」としてきたものを見ようとする考え方に関心が高まったように思う。

確かに存在するが見えにくい何かは、物体や現象となって我々の目前に立ち現れる瞬間があるのかもしれない。

形のないものに形を与え、偶像のような存在を視覚化したい。

あらゆる対象を土によって象形した造形の中に、潜在的な記憶を呼び起こす為の断片が埋まっている。



Photo by Takeru Koroda

Solo Exhibition

2022 化生 (芝田町画廊,大阪)

2022 西久松友花展(ザ・プリンス京都宝ヶ池,京都)

2021 珠-マニ-(ギャラリーヒルゲート,京都)

2020 掬(ギャラリーヒルゲート,京都)

2019 輪-リン-(ギャラリーヒルゲート,京都)

2018 祈りの飾り(ギャラリー恵風,京都)

2017 華飾(ギャラリーヒルゲート,京都)

2016 緋の飾り(ギャラリーヒルゲート,京都)



Photo by Takeru Koroda



Group Exhibition

- 2023 美の予感 2023-生彩-(高島屋,東京、京都、名古屋、大阪店)
- 2023 D-art,ART2023(大丸東京店,東京)
- 2023 Quatre objets(西武池袋本店,東京)
- 2023 Study:大阪関西国際芸術祭(グランフロント大阪,大阪)
- 2023 Kyoto Art for Tomorrow 2023-京都府新鋭選抜展-(京都文化博物館,京都)
- 2022 かめおか霧の芸術祭「霧の芸術館」(大本本部春陽閣,京都)
- 2022 岡山県新進美術家育成「I氏賞」選考作品展(岡山県天神山文化プラザ,岡山)
- 2022 KYOTO ART LOUNGE EXHIBITION ベールの光景(COCON KARASUMA 2F アトリウム,京都)
- 2022 神戸アートマルシェ 2022(神戸メリケンパークオリエンタルホテル,兵庫)
- 2022 CERAMIX(西武渋谷,東京)
- 2022 かめおか霧の芸術祭「城跡芸術展」(大本本部みろく会館,京都)
- 2022 D-art,ART2022(大丸神戸店、大丸京都店,京都、兵庫)
- 2022 幸山ひかり・西久松友花 二人展「とどまるもの、とどまらないもの」(真言宗御室派総本山仁和寺,京都)
- 2022 KOGEI Art Fair Kanazawa(Hyatt Centric Kanazawa,石川)
- 2021 かめおか霧の芸術祭「霧の芸術館~線を引き続けるためのプラクティス」(亀岡市文化資料館,京都)
- 2021 国際工芸アワードとやま 2020(富山県美術館,富山)
- 2021 KOGEI Art Fair Kanazawa(Hyatt Centric Kanazawa,石川)
- 2021 NATIVITY(品銀座,東京)
- 2020 京芸 transmit program2020(京都市立芸大ギャラリー@KCUA,京都)
- 2020 以美為用展~明日へのとびら II~(京都高島屋,京都)
- 2019 西久松吉雄・綾・友花展-地のかたち・水のめぐみ・土のちから-(中信美術館,京都)
- 2019 KOGEI Art Fair Kanazawa(KUMU KANAZAWA THE SHARE HOTELS,石川)
- 2019 新進作家五人展(京都文化博物館,京都)
- 2018 京都府新鋭選抜展 2018 -Kyoto Art for Tomorrow-(京都文化博物館,京都)
- 2018 KOGEI Art Fair Kanazawa(KUMU KANAZAWA THE SHARE HOTELS,石川)
- 2018 シブヤスタイル vol.12(西武渋谷,東京)
- 2017 Kyoto Art for Tomorrow-京都府新鋭選抜展 2017(京都文化博物館,京都)
- 2017 京展 2016 (京都市美術館,京都)
- 2017 「秋空に高くそびえる」(art space Morgenrot,東京)
- 2017 シブヤスタイル vol.11(西武渋谷,東京)
- 2016 西久松友花・山本伊代奈 二人展「湯気」(ギャラリーアンフェール恵文社一乗寺店,京都)
- 2016 琳派 400 年記念 新鋭選抜展-琳派 FOREVER-(京都文化博物館,京都)
- 2016 ART OSAKA2016「アートで目覚める vol.4」(ホテルグランヴィア大阪,大阪)
- 2016 おんなのご博覧会(ギャラリー杉野,東京)
- 2016 シブヤスタイル vol.10(西武渋谷,東京)

Award

- 2021 国際工芸アワードとやま 2020 入選(富山県美術館/富山)
- 2018 京都花鳥館賞奨学金 最優秀賞
- 2017 京都花鳥館賞奨学金 優秀賞
- 2017 京都銀行美術支援制度 2017 年度購入作品選抜
- 2017 京展 2016 入選
- 2017 Kyoto Art for Tomorrow2017-京都府新鋭選抜展- NHK 京都放送局賞
- 2016 京都花鳥館賞奨学金 優秀賞
- 2016 京都市立芸術大学作品展 市長賞
- 2015 四日市萬古陶磁器コンペ 2015 入選
- 2014 リサ・ラーソン展関連企画 「陶芸の森デザインコンペ やきものによる動物のインテリア」展 入選

Collection

京都銀行/園城寺/中信美術館



生駒 敦/Atsushi Ikoma

奈良を拠点に活動

“イムパーソネーション”

美しい花はこの世にたくさん存在する。ただ単にそれらを組み合わせただけ、単に美しい花があるというだけ。

しかしその組み合わせが劇的な空間を構成する瞬間、花はイムパーソネーションを持つ。

あるものは消滅し空になり、あるものは消えまいと自然に対抗する。

人と自然、ファッション、花、それらの関係性は時代によって生まれ変わり、循環し、いずれ溶け合い融合する。その瞬間、人は真に本質を見ることができる。



Solo Exhibition

2023 JINEN~花もどき~(The side,京都) 2022 朴と花(space department,奈良)

Group Exhibition

2022 DISTANCE(space department,奈良)

Art Fair

2022 UNKNOWN ASIA 2022 (グランフロント大阪,大阪)

2022 UNKNOWN ASIA EXTRA 2022 (フェスティバルタワーウエスト/大阪)

Award

2022 UNKNOWNASIA 2022 堀内恵賞

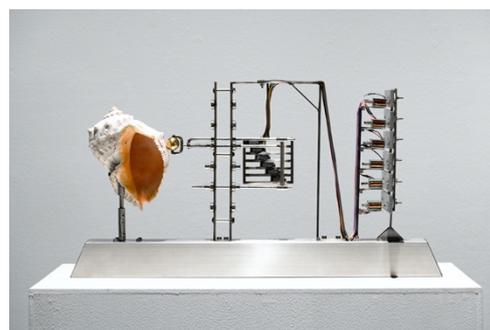
藤田 クレア/Claire Fujita

動力的な装置と有機物を組み合わせ、自身が生きる社会構造やプライベートな関係性において直面する問題や苦悩を反映した作品を制作する。

主な個展に「ふとうめい な 繋がり」(資生堂ギャラリー,2020)

グループ展に「SOUND&ART 展」(アーツ千代田 3331,2021)

がある。



Invisible Soundscape, 2020, Photo by 加藤健

近頃自身の鼓動が急に早くなることもある。

この異常な鼓動のリズムがあることで、普段は忘れていた心臓が動いていることについて改めて気がついた。

健康面を測る上でも非常に重要且つパーソナルでセンシティブな鼓動を可視化させることで、作品は一瞬その人と一体化する。来場者と一体化した作品は、人一人一人の鼓動のリズムで土台ともなっている繊細なガラスにヒビを入れ、いずれそのガラスは崩壊し、崩れ落ちるであろう。



Solo Exhibition

2022 Expanded Creatures ぐるぐる、そしてパタパタ(北千住 BUoY,東京)

2020 ふとうめいな繋がり(資生堂ギャラリー,東京)

2019 Intersection(LAD Gallery,愛知県)

2017 確かにそこにあった(コンフリバー,茨城県)

Group Exhibition

2022 渦-Spiral ATAMI (ACAO SPA & RESORT 2F,静岡)

2021 SOUND & ART(アーツ千代田 3331、東京)

2019 Resonance Materials Project 2019 ~Sensory~
(Spazio Rossana Orlandi,ミラノ イタリア)

2018 交領域 Cross Domain(蘇州金鶏湖美術館,蘇州 中国)

2017 対岸の雑草(中之条四万温泉,群馬)

2017 Another Lens(JR 上野駅,東京)



Never The Same, 2019, Photo by 加藤健

Award

2023 エメラルド賞 受賞

2020 第14回資生堂アートエッグ 入選

2016 東京藝術大学先端芸術表現科 買い上げ賞 受賞

2016 東京メトロ財団賞 受賞

Group Exhibiton “循環の合図”

出展作家：西久松友花/生駒敦/藤田クレア

開催日程：2023年4月7日(金)～4月23日(日)

営業時間：12:00-19:00 (4月7日,21日のみ18時まで)

会場：Marco Gallery 1F

オープニングパーティー：4月7日(金) 20:00-23:00 (アーティストトークほか)

クローズングパーティー：4月21日(金) 20:00-23:00 (ゲストトークほか)

Marco Gallery

〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25

竹本ビル 1F,3F,4F

Tel : 06-4708-7915

E-mail : marco.gallery.co.ltd@gmail.com

営業時間 : 12:00-19:00

定休日 : 月曜日,火曜日

〒542-0081

Takemoto Bld 1F,3F,4F, 4-12-25, Minamisemba,

Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka, Japan

Tel : 06-4708-7915

E-mail : marco.gallery.co.ltd@gmail.com

Business Hour : 12:00-19:00

Holiday : Monday,Tuesday

